

Bibliophiles

ビブリオファイル No.7(2019年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



『始皇帝 中華統一の思想 「キングダム」で解く中国大陸の謎』 渡邊義浩
人口が14億近くもあり、世界人口の約18%を占める中国。全体の人口が7億程度のヨーロッパが50の国に分かれているのとは好対照です。(さらにEU離脱などの分断も生じていますね) しかも中国を最初に統一した秦以降の2800年間、王朝は変わっても中国は統一し続けてきているのです。この中国の統一の秘訣とは? 三国志学会事務局長もつとめる筆者がマンガ『キングダム』の25の名場面を引用しながら、それを分かりやすく解説してくれます。

『最高のコーチは、教えない。』

吉井 理人

米マイナーリーグで、どうしても右打ち(打者から見て右側にボールを飛ばすこと)ができない選手がいました。あまりに出来ないの、ある日本人のコーチの見習いがついコツを教えてしまったところ、その選手のアメリカ人コーチから「お前は、あの選手の成長を止めた。あそこで自分で工夫して覚えなさいといけない。」と怒られたそうです。このエピソードが示すように、「教えるのではなく、自分の頭で考えさせる」指導方法が本書のテーマです。

『お母さん! 学校では防犯もSEXも避妊も教えてくれませんか!』のじまなみ
ユネスコは「性教育の開始年齢」を何歳としているかご存知ですか? 5歳なんです。みなさんは5歳の時に親や幼稚園の先生などから性について何か教えてもらえましたか? 筆者は、日本が「性教育後進国」であることと、同時に「性産業先進国」でもあることに危機感を感じ、「とにかく明るい性教育 パンツの教室協会」を設立。日々、保護者や教育者に対して性教育の啓発活動をしています。きっと誰しも興味のある内容ですので、少しページをめくってみてください。

『夏の騎士』

百田尚樹

人気作家の3年ぶりの長編小説ですが、百田氏がtwitterでこの作品をもって作家を引退するという宣言をしたことでも今話題の本です。
12歳の少年を主人公とした「青春もの」で、少女殺害の謎をめぐるお話です。作者一流の仕掛けがあり、本好きにはおおむね好評を得ているようです。それにしても、はたして本当にこの作品は百田氏の最後の作品になるのでしょうか?

今年も、生徒の選定委員による本が選ばれました!

本校では「先生方や生徒の意見を幅広く聴いて、図書館に置く本を決めよう」という選書方針を取っており、図書委員の中からも希望者を募り、選定委員になってもらって本を選んでいきます。今年も、120冊以上の本が選ばれ、ぞくぞく図書館にと入ってきていますよ。以下は、そのほんの一部です。

注目の漫画としては、唐々煙(からからけむり)による『曇天に笑う』。明治維新後の琵琶湖のど真ん中に、突如、監獄が出来上がりました。周囲が水でどこにも逃げられない牢屋にやって来るのは?..すでにアニメや実写映画化もされた、痛快歴史アクション漫画です。映画化と言えば、ふじたによる少女漫画『ヲタクに恋は難しい』も、来年度に実写で封切り(高畑充希と山崎賢人の主演)が予定されています。隠れ腐女子とゲームオタという「オタク」どうしの恋愛を描く、話題のコミックです。

小説も話題作に事欠きません。『君の臍臓をたべたい』の住野よるの最新作『麦本三步の好きなもの』。小説の発売前に作者自身がtwitterで「昨日寝る前に三步読んで不覚にも泣いてしまった。何も起こらないのに。。。』と意味深長なツイートをしました。大学図書館員のキュートな女子の何気ない日常を描いた、これまでの住野作品とは一線を画す小説です。

少し毛色が変わった小説なら、作曲家でもある仰木日向(おうぎ ひなた)による『作曲少女~平凡な私が14日間で曲を作れるようになった話~』『作詞少女~詞をなめてた私が知った8つの技術と勇気の話~』。いずれも、物語を通じて作曲や作詞の秘訣を学んでいく音楽教育系ノベルです。

ほかにも、ユーモアあふれる「バッタ博士」の記録『バッタを倒しにアフリカへ』(前野ウルド浩太郎)、「本」をめぐる絵本『あるかしら書店』(ヨシタケシンスケ)、恩田陸の小説7作『夜の底は柔らかな幻』ほか)などなど、ぜひ一度は図書館までのぞきにきて下さい。



『ちいさな あなたへ』

アリスン・マギー

世界20カ国語に翻訳され、日本でも65万部以上を売ったベストセラー絵本が入りました。母親が子どもにこれからの人生について語りかける内容ですが、親であることの素晴らしさが深い愛をこめて描かれています。原題はSOMEDAY(いつの日か)。この言葉の意味をラストの2ページでかみしめてみてください。

今号のひとこと

Am Anfang schaute ich mich um, konnte aber den Wagen, von dem ich träumte, nicht finden. Also beschloss ich, ihn mir selbst zu bauen.

私ははじめ、夢に描いていた車を探し回っていましたが、見つけれませんでした。

だから私は、自分でそれを作ることにしました。

フェルディナント・ポルシェ(1875-1951)

ポルシェ社の公式サイト(ドイツ語版)より。「必要は発明の母」と言います。日々の生活を送る上で「こんな商品があったらなあ。」と思うことは誰しもあると思いますが、「そういう商品がないのなら、自分で作ってしまえ!」と思う人は多くはありません。スポーツカーの代名詞・ポルシェの誕生はその数少ない例ですね。